

こうべまちづくりセンターニュース

## あーばんとーく

平成17年12月号 通巻 第100号)

発行：こうべまちづくりセンター  
〒650-0022神戸市中央区元町通4丁目2番14号  
こうべまちづくり会館内

電話 078-361-4523 ・ Fax 078-361-4546

URL:<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

## 100号 によせて



「あーばんとーく」は平成6年3月に第1号を発行して以来、今月で第100号を迎えることができました。その間に発生した阪神・淡路大震災からの復興の過程では、地域の方々が中心となって多くのまちづくり協議会が結成され、地域でまちづくり提案をまとめ、事業計画に反映させるなど、協働と参画のまちづくりが行われてきました。このようなまちづくり協議会の活動に対して、まちづくりセンターでは専門家の派遣などの支援を行うとともに、まちづくりの担い手である人材の育成や、まちづくりに関する情報発信なども行ってまいりました。

現在も全市で100団体を超えるまちづくり協議会が熱心に活動されており、引き続き支援を行っていきたくと考えております。

本年6月には、震災や復興過程で得た経験や教訓を踏まえ、21世紀の新たな神戸づくりに向けた「神戸2010ビジョン」を策定いたしました。その中では「協働と参画による地域力強化プラン」を柱の一つとして位置づけており、まちづくりセンターが果たす役割はますます重要になってくるものと考えています。

協働と参画のまちづくりには、地域の皆様のご尽力が必要となってまいります。安全・安心で豊かな神戸の実現に向けて、共に取り組んでいきましょう。

神戸市長 矢田 五郎

## あーばんとーくの歩み



こうべまちづくりセンター（以下、センター）の情報媒体の「あーばんとーく」も、いよいよ100号の発行を迎えました。

「あーばんとーく」は、読者の皆さんに支えられ、まちづくりに関する情報媒体として確実に育ってきま

した。

特に、開設から間もない平成7年1月に、神戸は阪神淡路大震災の直撃を受けましたが、その後の大混乱の中でも同年10月に復刊できたのは、皆様のご支援の賜物と感謝しています。

センターと「あーばんとーく」のこれまでの歩みを少し振り返ってみると……

平成5年11月、センターは住民主体のまちづくりの拠点として、元町通4丁目に新設された「神戸市立こうべまちづくり会館」で産声をあげました。

今でこそ、各地で「まちづくりセンター」が整備されてきていますが、当時は、独立の施設とスタッフを持つ「まちづくりセンター」は、ほとんどありませんでした。

（最終面に続く）

# 「あーばんとーく」よいもいもいヨ！？

## こうべまちづくり学校特別講座（広報紙をつくろう！）より

「いつも読んでいる『あーばんとーく』よいもいもい！代わりに記事を書いてもらえば！！」今年度から新たに始めたまちづくり学校特別講座での、受講生作成広報紙についての講師の方からの講評です。

10月号でも紹介しましたが、まちづくり学校の卒業生を対象に特別講座「広報紙をつくろう！」を開催し、広報紙づくりを学んでもらい、最終回は4班それぞれの「努力の結晶」を発表していただきました。発表に至るまでの奮闘の様子をご紹介します。

### ■暑かった「取材」

9月のまち歩き行事などの取材では、各班とも残暑の中、インタビューや写真撮影を精力的に行ないました。普段は入ることができないトンネル工事の現場などもあり、受講生も興味深く取材を行ないました。



### ■時間をかけた「編集作業」

編集作業はまちづくり学校の中で設けた1日では足り

ず、別に日を決めて集まって熱心に夜遅くまで作業を行ないました。

「この写真をもっと大きくしたら？」「もっといい表現がないかな？」

一緒に作業したスタッフのほうが「まだがんばるのー！」と思うくらい受講生は一生懸命、ときには夜9時を回るまで編集作業を行いました。いずれの班も和気あいあいと熱心に作業をしたのです。（延べ100人・時間を超える残業となりました！）

### ■熱のこもった「発表」

最終回の発表では各班ともよりいい記事にしたいという思いから、発表直前まで修正を行ないました。工夫した点や、苦労した点など



を中心に発表を行ないましたが、各班とも記事作成にかけた熱い思いがほとばしり、ついつい発表時間をオ

ーバーしてしまいました。

### ■「講評」に“ナルホド！”

講評では、皆さんの作品に照らして表現のポイントや良かった点などのお話があり、受講生も注意深く話を聞きました。



○ 文字スタイルのこりかたもほどほどに（印刷精度によっては白抜き文字などは見にくい）。

○ 明朝文字は横書きに適さない。

○ 強調文字でメリハリをつける。

○ 楽しさをタイトルで表そう。

○ 前から写真を撮ろう（おしりだけの写真にならないように）。

○ おもしろいと思ったことをトップにもってこよう。

○ 出来事だけでなく感想やコメントも入れよう。

○ 写真がふんだんに入っていて当日の様子がよく伝わってきた。

○ 編集後記によく想いが入っている。

○ 追加取材もきっちり行なわれている。

○ 短時間でこれだけ素晴らしい記事ができるとは！

### ■今回の特別講座をふり返って

今回の特別講座に対する受講生の声です。

○ 時間がかかるものだなあ。

○ パソコンでの編集方法をもう少し学ばなくては。

○ 記事の内容についてもっと勉強して、読んでもらえる記事を書きたい。

○ 今回学んだことを地元の広報紙にいかしたい。

○ 他の受講生と仲良く楽しく編集作業ができた。

○ 紙面が限られているのに気づいた（4人の記者の想いが多すぎる・・・）

今回の特別講座は「あーばんとーく」を発行している私たちにとっても、とても勉強になりました。今後も受講生の皆さんに負けないように、「あーばんとーく」の記事を充実させていきます。

今回初めてまちづくり学校卒業生を対象に特別講座を開催しました。来年度も卒業生の方を対象としたまちづくり活動に実践的に役立つ講座を開催したいと考えています。（こうべまちづくりセンター）

# 三宮中央通り・神戸元町商店街

# オープンカフェでおしゃれな通り！

去る10月7日～11月6日、三宮中央通りと神戸元町商店街で、地元まちづくり団体が中心となり、都心部の界限・回遊性向上や賑わいづくりを目的としたオープンカフェ（道路活用社会実験）が開催されました！

## 1. 三宮中央通りオープンカフェ

三宮中央通り（主催／三宮中央通りオープンカフェ実行委員会、委員長／永田耕一）では、通りの賑わいづくりを目的に、昨年につき2度目のオープンカフェ開催となりました。6～7.5Mの広幅員歩道に9店舗のカフェ・飲食店が出店し、通りの賑わいづくりを演出しました。オープンカフェの実施により、集客力が向上すると共に、おしゃれな通りとしてのイメージアップや知名度向上・違法駐輪対策等の成果がありました。



三宮中央通りオープンカフェ風景

## 2. 神戸元町ストリートカフェ

神戸元町商店街（主催／神戸元町ストリートカフェ実行委員会、委員長／奈良山喬一）では、通りの賑わいづくりや来街者の休憩サービス向上・自転車乗り入れ抑制等を目的に、今年初めて開催しました。歩行者専用道路の商店街に7店舗のカフェ・飲食店が出店し、併せて休



神戸元町ストリートカフェ風景



休憩ベンチ



警備風景

憩ベンチも設置しました。オープンカフェの実施により、通りの賑わいづくりに貢献しただけでなく、女性警備員による自転車乗り入れ禁止啓発活動により、自転車を降りて歩く人が増える等の効果がみられました。

## 3. まとめ

両地区共に、旧居留地のフリーウォークを始めとした秋の同時開催イベントで大変賑わい、マスコミにも多くとりあげられました。

### 同時開催のイベント



ジャズピクニック 2005

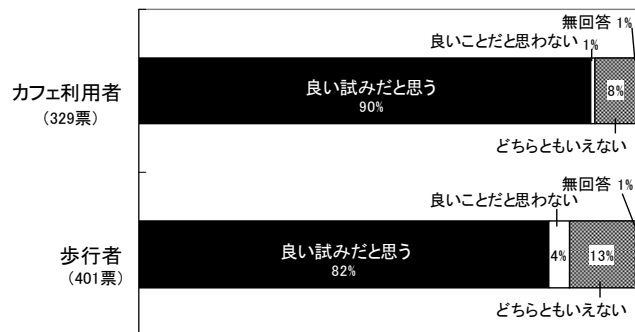


元町ミュージックウィーク

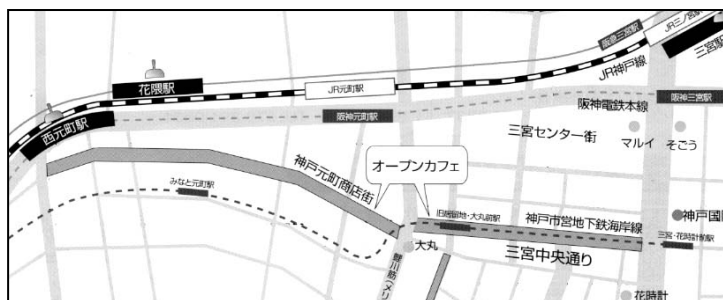
利用者・歩行者アンケート調査では、「良い試み」「継続してほしい」が大半を占め、特にお年寄りやベビーカーの家族連れ等には「気軽に休憩できる」と好評でした。

今回の社会実験では、神戸市の協定道路制度に基づき、地元と神戸市により、継続的に道路を管理・活用するための「道路管理・活用協定」を締結しました。引き続き本協定を活かしたオープンカフェ等の本格実施にむけて取り組んでいきます。

### オープンカフェの評価



アンケート調査結果（調査期間：10/7～11/6）



※「オープンカフェ de TOKU・とく」チラシより抜粋  
（都市計画総局地域支援室）

センターは、元町商店街の中というユニークな立地、明るく開放感のある建物デザインなど、これまでの「公の施設」のイメージを破る斬新な施設の中で成長してきました。

センターは、住民と行政の間を取り持つ組織として、震災後には「すまい・まちづくり人材センター」を設立し、震災復興を取り組む地域に専門家を派遣して、支援してきました。

センターの情報発信機能の一つである「あーばんとーく」は、創刊当初は記者に依頼して作成されえた地域レポートや講座の案内などの記事が中心でした。震災後は、復興関連のシンポジウムや研究会の報告、共同再建事例の紹介などの記事も多くなり、リアルタイムでの発信の必要性から、平成10年9月号からは、季刊から月刊化し、また手作りで発行できるようになりました。

月刊化後は、まちづくり関係講座の募集や震災復興区画整理等の事業の現状のお知らせだけでなく、まちづくり協議会やまちづくりコンサルタントの方々の「まちづくりの現場」からの実践的な報告、さらに市職員による「まちづくりの考え方」の記事の連載など、多くの方々のご協力を頂くことができました。

皆様方のニーズに多少とも応じることができたのではと思っております。

おかげ様で、「あーばんとーく」は100号をむかえることができました。今後も心待ちにさせていただけるように、紙面のより一層の充実をめざしてまいります。



# まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

12月10日(土)~27日(火)	景観・ポイント賞受賞作品展	都市計画総局地域支援室
------------------	---------------	-------------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

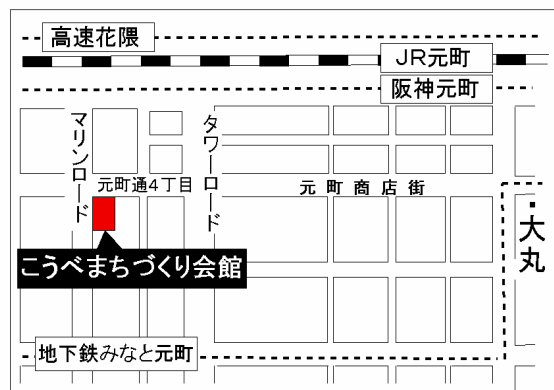
期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
12月15日(木)~20日(火)	キルト♥マインド 『パッチワーク・キルト』作品展	宮本 純子
1月 5日(木)~10日(火)	神戸大学写真部部展	神戸大学写真部

## すまい・まちづくりのご相談は

- すまい・まちづくり人材センター  
(こうべまちづくり会館 3F)  
電話 078-361-4377 ・ FAX 078-361-4546  
受付は、午前10時~午後5時(水曜日休館)  
※土・日・祝日は、事前にご連絡ください。

## 自治会活動などのご相談は

- コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)  
電話・FAX 078-361-4565  
受付:午前10時~午後6時(水曜日休館)  
ただし印刷は、5時まで  
会報等の印刷サービスや自治会の運営等の相談  
(インストラクター派遣など)



### 最寄駅

- 地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分
- 高速花隈駅東口から3分
- 高速西元町駅東口から5分
- JR・阪神元町駅西口から8分